

選之種耳。在昔三韓朝貢及歸化者絡繹不絕。是以三韓鄉名傳至于今者頗多。眞瓜密祖詳味之類是也。

〔奥羽觀蹟聞老志三〕庸貢土產熟瓜。以名取郡。北口村所產爲住品。有白瓜。謂之梵天俗曰幣帛而稱梵。

亦呼瓜命。或有青碧而黃筋者。謂之筋好瓜。近年以他邦種植之。往時有名護屋種。爾後有淺碧瓜アサキウリ。近歲用伊

具郡佐倉種。其色青黑而有綠筋細點者。其味有破霜嚼氷之美。曰之幾都。又有黃色青筋而短小者。謂

之球鑰。尤好瓜也。

〔國花萬葉記十三〕出雲國中名物出所

瓜のき村と云所より出る

〔毛吹草三〕山城 八條淺瓜。青瓜。狛越瓜。

〔雍州府志土產〕越瓜。越瓜諸處皆有特山城。狛邊。多種之賣。京師此外茄子角豆生薑等物亦多出自

斯所。凡瓜茄子等早熟者。俗謂初物。皆出自斯邊。俗此邊專謂山城。此地向陽。故土地和暖。依之諸物早

生。早實。然至越瓜風味不及賀茂河東吉田邊之所種。泉州府志。蒼瓜質長而色白。或名白瓜。或稱菜瓜

云云。依此則越瓜或稱蒼瓜。又稱蒼瓜。又一種有青瓜。其形狀小而味又甘美也。

〔拾遺和歌集九〕三位國章。ちひさき瓜を扇にをきて。藤原かねのりにもたせて。大納言朝光が。兵

衛佐に侍りける時。つかはしたりければ。

を。と。に。き。く。こ。ま。の。わ。た。り。の。う。り。つ。く。り。と。な。り。か。く。な。り。な。る。心。か。な。

返し

さだめなくなるなりうりのつら見てもたちやよりこむこまのすきもの

〔浪花の風〕瓜の類。白瓜といふもの大きなもの多し。冬瓜の如く煮て食ひ。又は漬物とす。丸づけ

と唱ふるもの絶てなし。夫故雷り干といへるもの。杯製することなし。予美○祐久須は香のものを好